令和８年１１月２日(月)発表

NUMAZU CITY PRESS RELEASE

沼津市　報道取材情報

～患者さんに投与する薬、その「安心・安全」を生み出す場所～

バイオハザード対策用安全キャビネットのご紹介

要　旨

沼津市立病院広報誌「ぬまピタル」号外（医療機器編 vol.13）を発行しました。「病院バックヤードに潜入」をテーマに、普段はあまり目にすることのない医療機器などを紹介しています。

今回は、薬剤の調製の現場を支える「バイオハザード対策用安全キャビネット」を紹介します。

本機器は、患者さんごとの治療薬を調製する役割の一部を担っています。

作業空間を常に無菌状態で維持し、点滴に抗がん薬を混ぜる作業を行います。空気循環システムにより、有害物質から薬剤師の体への付着や吸収を防ぎ安全性を確保しています。

これからも、地域のみなさまが安心して治療を受けていただける環境づくりを進めてまいります。

概　要

【ぬまピタル号外（医療機器編 vol.13)】

１　発 行 日　　令和８年１１月２日(月)

２　閲　　覧　　沼津市立病院　病院管理課から　データ配信のみ
（沼津市立病院ホームページ、院内デジタルサイネージ）

３　特記事項　　・「ぬまピタル」号外は、月１回程度データ配信し、
当院の医療機器など、さまざまな内容を紹介します。
・医療現場を裏で支える医療機器などを紹介することで、
市民のみなさまに親しみを持っていただきたいと思います。
※取材対応可能です。ご連絡をお待ちしております。

お問い合わせ先

沼津市立病院　事務局　病院管理課
直通：０５５－９２４－５１００（代表）

沼津市立病院
NUMAZU CITY HOSPITAL

沼津市立病院広報誌
numapital
ぬまピタル
医療機器編 vol.13
Nov.2026

-地域のために前進をつづける病院を目指して-

当院の医療現場で活躍する機器を紹介します





患者さんに投与する薬、その「安心・安全」を生み出す場所

バイオハザード対策用安全キャビネット（たいさくようあんぜん）

- ■ 点滴に抗がん薬を混ぜ、患者さんごとの治療薬を調製
- ■ 高性能フィルターで作業空間を守り、常に無菌状態を保持
- ■ 空気循環システムにより、有害物質から薬剤師の体への吸収等を防止

ー市民のために　共に歩む病院ー
沼津市立病院
NUMAZU CITY HOSPITAL

〔初めて受診される方へ〕
原則、医療機関からの予約と紹介状が必要です。
紹介状をお持ちでない場合、特別初診料がかかります。

詳しくは
コチラ↓

沼津市立病院広報誌「ぬまピタル」
発行：広報委員会・病院管理課

沼津市東椎路字春ノ木550番地
055-924-5100
byoin-so@city.numazu.lg.jp